

資料2

◆ 公共交通の利用増加



■ 実施日

■ 対象路線

▼公共交通利用回数

曜日	バス (回数)	電車 (回数)	合計 (回数)
平日	710	333	1,043
平日 100円ウィーク	811	336	1,147
休日	431	266	697
休日 100円ウィーク	639	345	984

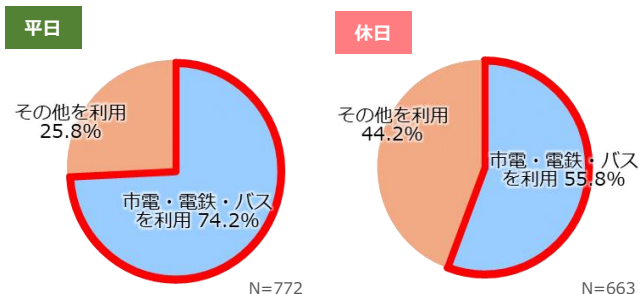
アンケート結果

※出典:「バス・電車100円ウィーク」webアンケート (回答数:925件)

調査期間:令和6年2月10日(土)～令和6年3月31日(日) 調査手法:熊本市のHP及び各種SNSにてアンケートリンクを掲載

▼100円ウィーク期間中の市中心部への代表交通手段

回答対象：100円ウィーク期間に外出した人

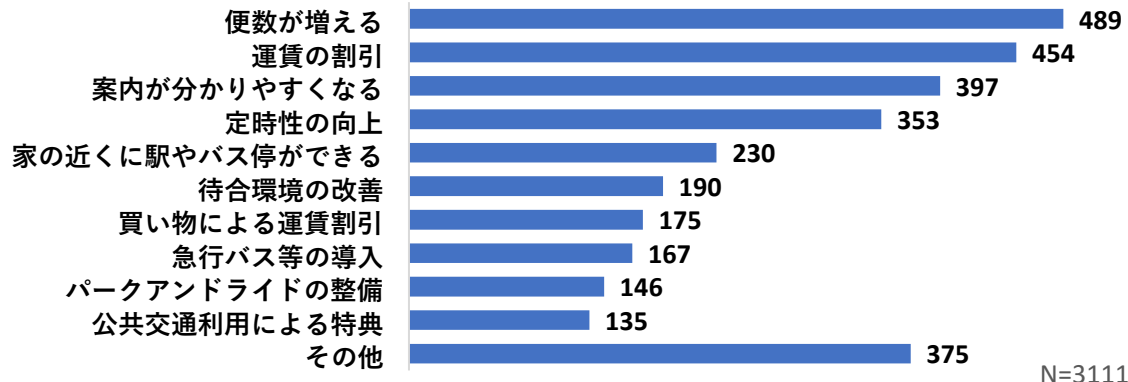


バス・電車を利用した人:平日約74%・休日約56%
⇒このうち、普段は公共交通を利用しない人が約2割

・当日外出した人のうち、バス・電車を利用した人は約6割
うち、普段公共交通を利用しない人が約2割

▼公共交通を利用したくなる要因

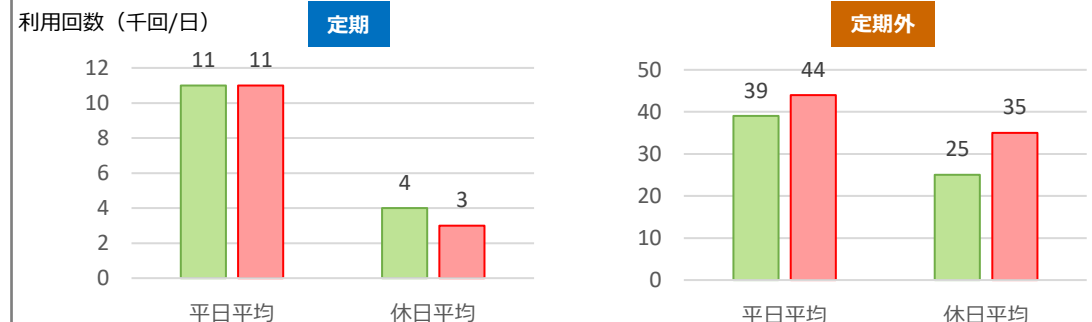
問:どうすれば、これまで以上に公共交通を利用したいと思うか。
または、どうしたら利用が増えると思うか(複数回答可)



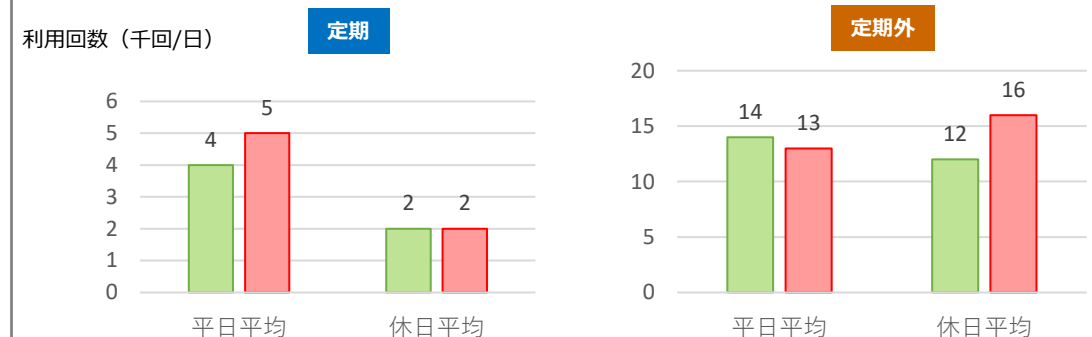
- ・ 無料の日のアンケート結果と同様、運賃の割引より便数の増加を挙げた人が最も多い

◆ 利用者別の公共交通利用増加

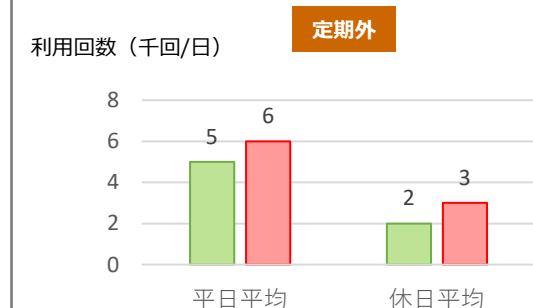
▼ 定期利用・定期外利用のバス利用回数



▼ 定期利用・定期外利用の市電利用回数



▼ 電鉄電車利用回数



※出典:交通事業者提供資料(全国交通系IC、くまモンIC、おでかけICの利用データ)
 ※それぞれのデータは次のように整理
 バス(定期):くまモンIC(定期)
 (定期外):くまモンIC(SF)、全国交通系IC、おでかけIC
 市電(定期):でんでん二モカ(定期)
 (定期外):全国交通系IC(SF)、くまモンIC、おでかけIC
 電鉄電車 :全国交通系IC
 ※熊本電鉄はくまモンICの利用回数が取得できないため、定期外の利用回数のみ

・ 100円ウィーク期間中の公共交通利用回数を利用者別にみると、**定期外利用の増加が顕著**に見られる。

◆ 乗降が増加したバス停

資料2

※出典:交通事業者提供資料(IC利用データ)
 ※100円ウィーク時-平時(100円ウィーク期間及び平日の祝日、3ヶ日を除くR5.1月～3月平均)で、1日当たりの乗降数の増加が多い上位5個所のバス停を選定

▼ 利用者数の伸び数

平日	バス停名	平時 (人)	100円ウィーク時 (人)	伸び数 (人)
1	通町筋	9,187	10,546	1,359
2	桜町バスターミナル	12,516	13,455	939
3	熊本駅前	4,700	5,187	487
4	イオンモール熊本	675	932	258
5	市役所前(熊本)	3,957	4,149	191

休日	バス停名	平時	100円ウィーク時	伸び数
1	桜町バスターミナル	7,669	10,984	3,315
2	通町筋	7,825	10,319	2,494
3	熊本駅前	2,964	4,575	1,611
4	市役所前(熊本)	1,378	1,955	577
5	イオンモール熊本	561	1,035	474

▼ 利用者数の伸び率

平日	バス停名	平時 (人)	100円ウィーク時 (人)	伸び率 (倍)
1	佐俣の湯(美里町)	0.4	27.4	69
2	通潤橋前	0.6	12.2	20
3	土山(益城町)	0.2	3.2	16
4	上六嘉(嘉島町)	0.2	2.2	11
5	二俣橋(美里町)	0.2	1.8	9

休日	バス停名	平時	100円ウィーク時	伸び率
1	佐俣の湯(美里町)	1	38	38
2	通潤橋前	1.5	28.5	19
3	水前寺グランド通り	0.5	7	14
4	動植物園西口	0.5	6.5	13
5	浜町(山都町)	3.5	34	10

・ 平日休日ともに、**熊本市中心部に立地する停留所で乗降数が増加**
 ・ また伸び率をみると、**平時の乗降数が少ない郊外のバス停の乗降が大幅に増加したことが読み取れる**

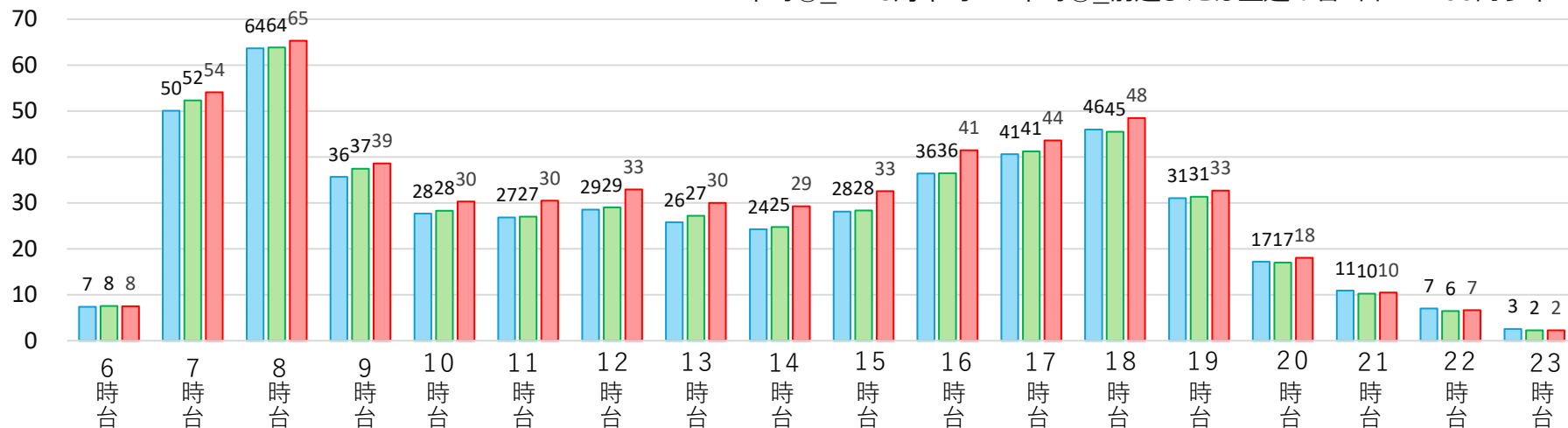
◆ 時間帯別の公共交通利用増加

▼100円ウィーク期間と平時の「時間帯別のバス利用回数」の比較 ※出典:交通事業者提供資料(IC利用データ)

平日

バス利用回数(百回)

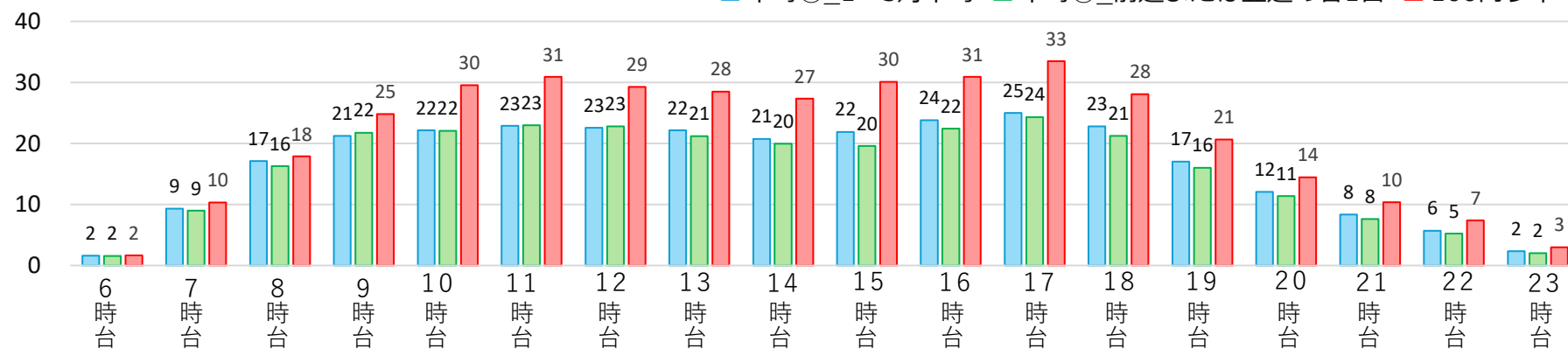
■ 平時①_1～3月平均 ■ 平時②_前週または翌週の各1日 ■ 100円ウィーク



休日

バス利用回数(百回)

■ 平時①_1～3月平均 ■ 平時②_前週または翌週の各1日 ■ 100円ウィーク

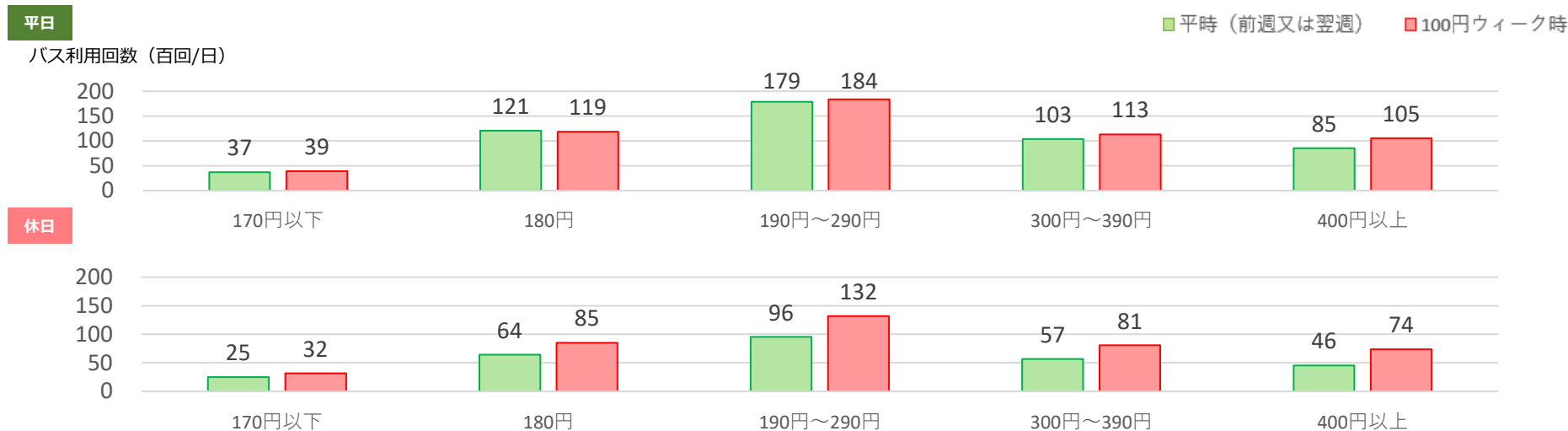


- ・ 100円ウィーク実施時に関わらず、平日朝の利用者の集中が顕著であることが読み取れる
- ・ 100円ウィーク期間は、平日・休日とも、平時よりもバス利用回数が増加しており、
平日は、特に11～16時の利用回数の増加が比較的多く、休日は、時間を問わず100円ウィーク期間の利用回数の増加が確認できた

◆ バス運賃別の公共交通利用増加

▼100円ウィーク期間と平時の「バス運賃別の利用回数」

※出典:交通事業者提供資料(IC利用データ)

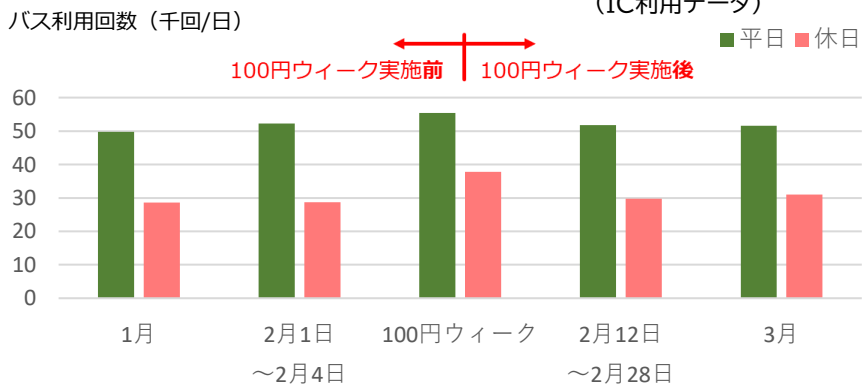


- ・ 平日・休日とも、運賃が高い区間では、100円ウィーク期間の方が利用回数が多い
- ・ 一方、運賃が安い区間は、100円ウィーク期間の利用増加が限定的

◆ 利用定着状況

▼バス利用回数推移 (実施前後)

※出典:交通事業者提供資料 (IC利用データ)



- ・ 100円ウィーク前後の利用回数推移に着目すると、事業実施時の増加は確認できるものの、前後であまり変化は見られなかった

◆ 実施期間中の運賃収入 (平時との比較)

※出典:交通事業者提供資料

対象路線における100円ウィークと前週(1/29～2/4)の運賃収入より算出

	100円ウィーク時(A)	平時(前週)(B)	平時との比較(A/B)
バス(5社計)	¥37,728,366	¥74,010,520	0.5
電鉄電車	¥2,120,720	¥4,717,767	0.4
市電	¥13,948,486	¥20,770,814	0.7
合計	¥53,797,572	¥99,499,101	0.5

- ・ 100円ウィーク時の運賃収入は、通常時の半分程度となった